事業所名 ： グループホーム　古茂口の家

目標達成計画

作成日： 平成　28年　4月　 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	アンケートでは昨年に比較して「介護計画のわかり易い説明」、「思いや要望への理解」などが低下傾向である。この要因の分析や改善策についての検討を期待したい。	家族の理解が得られる様、具体的な説明の方法を講じ、ケースカンファレンスに参加して頂ける様お知らせする。	1．ケースカンファレンス開催日をお知らせし、出席をお願いする事にした。 2.「継続」の一言で済ませるのではなく、家族会や来所時には計画作成担当及び介護主任より説明する機会を作る。	3ヵ月間
2	アンケート 19	夏の暑い時期に居室の冷房が入ってなくて、ムンムンとした中で寝ていた事があった。リモコンも居室に置かれていなかった。	リモコンを居室に配置し、室内の温度が調整できる。	リモコン操作の可能な方には配給し、自分で室内の温度をコントロールして頂く事にする。操作できない方には、室内に温度・湿度計を配置して、適正温度を保つようにする。	12ヵ月間
3	アンケート 15	食事の内容を良くしてほしい（本人より）	皆さんが楽しく満足できる食事を提供できる。	定期的（4月に実施）に食事の良し悪しの、アンケートを取り、参考にする。家族会での承認を得ながら食材費の増額を図る。	3ヵ月間
4	アンケート 6	2階は、スタッがお一人で働いている事が多く、利用者さんのトイレが重なると大変そう。相対的に人員がやや不足ではないかと感じる。介護は一人ひとりの症状、度合いに対応するため、目の届かない場合も有り、職員の負担増が気がかりです。	職員を増員し、マンツーマン対応ができる。	限られた介護報酬を、職員で配分して運営している事から考えると、自ずから対応に限界が感じられ、集中的に効率的に人員配置を考える事が必要になる。効率性や介護負担の増大を理由に、受け入れを拒否するような事はしない。	運営期間中